



公益社団法人 石川県作業療法士会 ニュース

第139号 2026年7月28日 発行



創発と再設計により、価値ある県士会へ

公益社団法人 石川県作業療法士会 会長 米田 貢
(金沢大学)

会員ならびに関係各位におかれましては、日頃より石川県作業療法士会の活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。会員一人ひとりの現場での実践が本会の基盤であり、石川県における作業療法の価値を支えています。令和8年度を迎えるにあたり、本会の所感を述べさせていただきます。

新体制のもとで進化する県士会へ

令和8年度、本会は県士会組織を再編し、新たな体制で事業を進めてまいります。すでに実施予定の事業を着実に推進することはもちろんですが、それだけにとどまらず、実践の中で見えてくる課題や会員の声を丁寧に受け止め、次の事業展開へと反映していくことが重要です。組織再編は、単なる形の変更ではなく、会員ニーズや社会ニーズに応じて県士会が継続的に進化していくための土台であると考えています。

創発と再設計の循環

本会が目指すのは、「創発」と「再設計」の循環による組織運営です。創発とは、現場の自由な実践や対話の中から、予期しない工夫や新しい価値が生まれることです。一方、再設計とは、そこで生まれた良い動きや見えてきた課題を、県士会全体の事業や仕組みとして整えていくことです。

そのためには、会員や会員施設の声を幅広く聴くことが欠かせません。さらに、県や市町の関係部署とも意見交換を行い、地域ごとに異なる課題や社会的ニーズを把握していく必要があります。いわゆる「ブロードリスニング」を進め、DXやAIも積極的に活用しながら、会員の声を聴き、案を磨き、事業に反映していく循環をつくっていきます。

そして、単に事業を継続するのではなく、課題に焦点を当て、会員ニーズと社会ニーズに応じた事業

の再設計につなげていきます。各部局や支部の活動、研修会、地域支援、災害支援、情報発信などの取り組みを進める中で、小さな実践や成功を見逃さず、必要に応じて県士会全体の仕組みへと位置づけていくことが重要です。

具体的な取り組み

具体的には、「OT e-Campus 石川」による学術・教育コンテンツの充実、支部ごとの交流会や事例検討会の推進、地域包括ケア・多職種連携・災害支援への継続的な参画、情報発信や会員福利の強化に取り組めます。新人・若手、現職者、管理者、教育・研究に関わる会員など、多様な立場の学びと実践を支える県士会を目指します。

地域社会に貢献する専門職団体として

県士会は、会員のためだけでなく、地域社会に作業療法の価値を届けるための組織でもあります。県の医療計画が目指す地域医療・在宅医療・多職種連携の推進、そして令和6年能登半島地震からの復旧・復興に向けた取り組みにも、専門職団体として貢献してまいります。また、地域ごとに異なる課題や特性に対応するため、市町の関係部署との意見交換を行い、行政や関係団体との連携をさらに強化していきます。

ともに価値ある県士会へ

会員が「所属していてよかった」と感じられること、そして社会から「必要な団体である」と再確認されること。この二つを両立させることが大きな目標です。県士会は完成された組織ではなく、会員の声と参加によって変化し続ける組織です。令和8年度も、皆さまとともに、価値ある県士会へ進化してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

石川県医療功労者知事表彰

新たな一步をとともに ～未来へつなぐ「作業」～

金沢脳神経外科病院 高多 真裕美

このたび、石川県医療功労者知事表彰を受賞いたしました。この受賞は私個人のものではなく、これまで支えてくださった多くの先輩方や仲間の皆様、そして家族とともにいただいたものと受け止めております。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

私は作業療法士として歩む中で、専門職としての責務を果たしながら、家族の「作業」や私自身の「作業」も大切にすることを目標としてきました。その歩みの中で、多くの作業療法士との出会いに恵まれ、自分に不足している知識や技術、視点に気づく機会をいただき、次の目標に向かって歩み続けることができました。また、令和6年能登半島地震では、県士会活動を通じてJRATの一員として災害支援に携わり、平時からのつながりの大切さをあらためて実感しました。

これからは、私を育ててくださった多くの方々への感謝と恩返しの思いを胸に、次世代を担う作業療法士が、さまざまな人や経験と出会えるよう橋渡しをしてまいります。

石川県民の皆様が、大切な人とともに住み慣れた地域で、その人らしく暮らし続けられるよう、これからも皆様とともに学び続けていきたいと思います。一つ一つの「作業」を丁寧に積み重ねることが、地域の明るい未来を築き、作業療法の発展につながることを信じています。



学術雑誌奨励賞

論文名「手背皮膚潰瘍に対して遊離浅腸骨回旋動脈穿通枝皮弁で再建され、
装具療法を中心としたハンドセラピーを実施した1症例」

金沢医科大学病院 作業療法士 内田 加菜

この度は学術雑誌奨励賞をいただき、大変光栄に思います。初めての論文投稿にあたり、査読していただいた先生をはじめ、未熟な私に対しても熱心に指導してくださった形成外科の先生や先輩方に深く感謝しております。自分自身の臨床を改めて見つめ直すことは、多くの学びがあり自らを作業療法士として成長させてくれる貴重な経験となりました。今後も自己研鑽に取り組み、担当する患者さまにより良い作業療法を提供できるよう努力していきたいと思います。



田中氏

内田氏

優秀学術賞

論文名「脳卒中および脳損傷者に対する運転可否予測モデルに関する研究」

金沢脳神経外科病院 田中 聡士

この度は優秀学術賞をいただき大変光栄に思います。日々の臨床や研究に取り組む中で得られた成果を論文としてまとめることができたのは、日頃よりご指導くださった先生方をはじめ、先輩方や同僚の皆様、そして支えてくれた家族のおかげです。この場をお借りして、これまで関わってくださったすべての方々に心より感謝申し上げます。今回の受賞を励みとし、今後も感謝の気持ちを忘れず、作業療法の発展に少しでも貢献できるよう、臨床と研究の両面に真摯に取り組んでまいります。

永年会員表彰受賞者から一言

石川療育センター 高瀬 陽子

この度、永年会員の表彰を賜る機会を頂き感謝申し上げます。作業療法士として20年間、楽しい時も苦しい時も今まで続けてきた事に対して表彰を受ける事ができた事は、大変光栄であると共に、周囲の方々への感謝の機会になりました。今の私があるのは、恩師、作業療法士の先輩方、職場の方々、友人、家族、利用者様などOTを通して関わることができたこと、沢山の方に出会え、貴重で大切な経験ができた事に心から感謝したいと思います。

私は、お子さんが大好きなので、お子さんのOTがしたいと作業療法士を目指す事になりました。お子さんとのOT場面では、日々変化するお子さんの成長を親御さんと一緒に共有できるのは、何よりも嬉しく楽しい事です。また、卒業の時期には「ありがとう」のお手紙を貰い、この仕事を選んで良かったと感じながらもっと頑張ろうと元気になります。

今後も新しいOTの仲間が増える事で、より作業療法が盛り上がっていく事を楽しみにしています。ありがとうございました。



永年会員表彰者の皆様

このたび20年の永年会員表彰を受けた皆様をご紹介します。

岩下 琢也	株式会社リハス	中山 泰洋	介護老人保健施設 山中温泉しらさぎ苑
宇野 聡	久藤総合病院	野倉 克利	岡部病院
梶澤 祥子	石川県済生会金沢病院	林 怜子	石川県立こころの病院
金田 和弘	介護老人保健施設 白鳥苑	干場 真吾	公立能登総合病院
芹澤 宏太	七尾病院	堀田 絵未	石川県リハビリテーションセンター
多賀 真衣	訪問看護リハビリステーションOHANA	山下 美咲	自宅
高木江美子	敬愛病院リハビリテーション部	山田 清夏	福久ケアセンター 機能訓練室
高瀬 陽子	石川療育センター	山田ともえ	金沢赤十字病院
田中 洋子	サンライフたきの里	吉川 裕果	松原病院 デイケアすまいる
辻口 喜保	千木町ケアセンター	米山 太郎	恵寿金沢病院
常山 真生	公立松任石川中央病院	米山 千尋	恵寿金沢病院
永井 克弥	国民健康保険小松市民病院	渡邊かおり	金沢脳神経外科病院

最優秀賞

金沢健康福祉財団 上野 玲子

「第5回生活行為工夫情報コンテスト 最優秀賞」

最優秀賞に選んでいただき、ありがとうございました。今回の何気ない工夫により、本人の身体面だけでなく、家族という環境因子にも介入することができました。また、「OTが皮膚の問題を解決してくれるとは思わなかった。」と看護師に言われ、作業療法の広報活動にもなったかと思います。福祉用具相談システムにはOTの知恵が財産として蓄積されています。皆様の日々の現場での工夫を登録・活用し、共に未来へつないでいきましょう。



キャリアアップ表彰

芳珠記念病院 堀川 修子

この度キャリアアップ表彰を受賞させて頂き大変光栄に思います。様々な分野の研修参加を通して新しい知識を得るだけでなく、県士会員同士の交流を通して繋がりを得たり、自分の日々の臨床を振り返る良い機会になっていると感じています。今後も積極的に研修や学会参加を通して知識・技術の向上に励み、それらで得たものを臨床の場で実践できるよう努めていきたいと思っています。



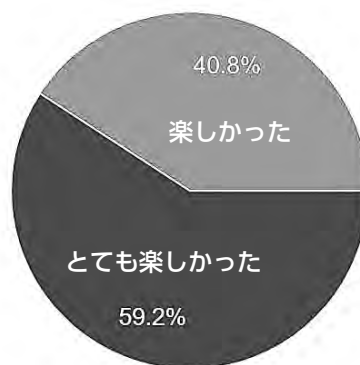
2026年度会員みんなで交流会(新会員歓迎会・表彰者祝賀会 併催)を終えて

福利厚生部担当理事 酒野 直樹
(金城大学)

今年も会員みんなで交流会を参集型で開催いたしました。今回はこれまでと異なり、昼食をとりながら1時間ほど交流する形式としました。当日は新会員27名、表彰受賞者6名、一般会員21名の総勢54名にご参加いただきました。新会員に同伴してくださった一般会員も多く、日頃からの県士会活動へのご理解に深く感謝申し上げます。会は米田会長のご挨拶に始まり、表彰受賞者のスピーチやプレゼンテーションを行いました。テーブルごとの自己紹介も大変盛り上がり、終始笑顔の絶えない時間となりました。

終了後のアンケート(回答率90%)では、回答いた

だいた皆様全員から「とても楽しかった(59.2%)」「楽しかった(40.8%)」との評価をいただいております。また、「先輩方との交流が貴重な体験となった」「お昼の開催が参加しやすかった」「職場外の有益な情報を得られた」など、多くの喜びの声を頂戴しました。1時間という短時間の開催ゆえに「もう少し時間がほしかった」との声もありましたが、日頃お会いできない会員同士で充実した交流を図ることができました。今回の課題をしっかりと振り返り、次年度はより活発に交流ができるよう検討してまいります。



新会員紹介

今年度44名の新会員が新たに加わりました。

株式会社デー・アイ そよ風

恵寿総合病院

恵寿総合病院

恵寿総合病院

恵寿総合病院

恵寿総合病院

公立つるぎ病院

公立つるぎ病院

公立つるぎ病院

公立能登総合病院

公立能登総合病院

公立羽咋病院

合同会社 にじのわ

国立病院機構 石川病院

国立病院機構 七尾病院

国立病院機構 七尾病院

桜ヶ丘病院

桜ヶ丘病院

市立輪島病院

城北病院

すずみが丘病院

浅ノ川総合病院

中源竜之介

矢野 和奏

伊藤 結菜

福田 由菜

守崎 唯

清水 美優

八巻 遥

齊藤かのん

川島 心

蔵田 愛花

中町 宏輝

竹山 詩菜

森田 綾

武藤 亜美

久米 創大

三浦百萌花

中村 望愛

大澤 葉月

大家 綾斗

田中 杏里

島野 舞

中塚 菜津

浅ノ川総合病院

浅ノ川総合病院

町立富来病院

七尾松原病院

南ヶ丘病院

やわたメディカルセンター

やわたメディカルセンター

芳珠記念病院

金沢ゆとり学園ひばり教室

金沢医療センター

金沢大学附属病院

金沢西病院

金沢赤十字病院

金沢赤十字病院

金沢赤十字病院

金沢赤十字病院

金沢脳神経外科病院

石川県済生会金沢病院

石川県済生会金沢病院

石川県済生会金沢病院

石川県立中央病院

石川県リハビリテーションセンター

村田 遥

中川 芽依

横山なづな

高橋 蒼大

瀬戸久瑠実

高橋 桃和

小坂 奈生

加藤慶治郎

中川 等史

笠島 三桃

布村 優芽

長田 生那

土橋 満優

後 里奈

島田 華

橋本 舞花

石村 汐里

中山 大希

盆田 咲穂

上田 有紗

塚原 恵美

栗栖 峻

日本作業療法士協会特別表彰の受賞のご挨拶

柴田 克之

このたび、日本作業療法士協会特別表彰という大変名誉ある賞をたまわり、心より感謝申し上げます。これまで私を支えてくださった多くの先輩方、同僚、後輩、そして学生の皆様に深くお礼申し上げます。また、長年にわたり、作業療法の発展に尽力されてきた先輩方の歩みの上に、今回の受賞があることを改めて実感しております。振り返りますと、学会運営、学術誌「作業療法」の編集、都道府県士会活動などさまざまな場面で微力ながら、作業療法の発展に携わる機会をいただきました。中でも、日本作業療法学会の運営や学術誌「作業療法」の編集長に関わらせていただいた経験は、私自身にとって大変貴重な財産となっています。2021年コロナ禍、杜の都仙台での現地開催とはなりませんでした。第55回日本作業療法学会学会長を務めさせていただき、多くの仲間と協働しながら学術活動を推進できたことは、私に

とってかけがえのない経験でした。また、教育の場に身を置き、多くの学生や若い作業療法士と出会えたことは、私自身を成長させてくれました。今回の受賞を一つの区切りとするのではなく、これまでいただいたご縁と経験に感謝しながら、今後も作業療法の発展と地域社会への貢献に努めてまいりたいと考えております。最後になりましたが、日本作業療法士協会ならびに石川県作業療法士会の皆様に心より感謝申し上げますとともに、今後ますますの作業療法の発展を祈念し、受賞の挨拶とさせていただきます。



第54回東海北陸地方医療功労賞受賞のご挨拶

石川県リハビリテーションセンター 寺田 佳世

このたびは、石川県作業療法士会よりご推薦いただき、第54回東海北陸地方医療功労賞という大変名誉ある賞をいただくことができました。心より感謝申し上げます。

私は作業療法士として、長年にわたり、障害のある方々の自立支援に関わってまいりました。身体や精神に障害を持ちながらも、住み慣れた地域でその人らしく自立した生活を送っていただけるよう、日常生活支援や自立支援機器を用いた社会参加支援、就労支援、また、誰もが社会参加しやすいユニバーサルデザインの推進などに取り組んできました。また、能登半島地震の発生後は、被災された高齢者の方々が、環境の変化や不安の中で心身の機能を低下させることのないよう、被災地域において復興に向けたリハビリテーション支援にも関わり続けています。

これまで大切にしてきたことは、対象となる方の身体特性や環境を丁寧に評価し、生活の営みや社会

とのつながりを大切にしながら、その方の「できる力」を引き出す支援です。こうした視点を持つことができたのも、県士会活動を通じて諸先輩方からご指導いただいたことや、仲間や後輩の皆様とのさまざまな経験のおかげであり、これらすべてが私にとって大きな財産となっています。

このたびの受賞を励みに、今後も作業療法士として、人の暮らしに寄り添う姿勢を大切にしながら、高齢者や障害のある方々が安心して地域で生活を持続できるよう、少しでも力になれるよう努めていきたいと思っております。



石川県作業療法士会員限定

いつでもどこでも質の高い学びを



システム紹介

本システムは、時間や場所を問わず学ぶことができる「動画型学習プラットフォーム」です。新人からベテランの方はもちろん、普段、中々研修会に参加しにくい子育て中の方で、すべての県士会員が自身の臨床実践・専門性向上に活用できる内容を提供してまいります。

カテゴリー構成

臨床実践：
事例で学ぶ即戦力

急性期から生活期まで、明日からの臨床に直結する事例動画を提供します。

理論・思考：
「なぜ」を深める思考力

作業分析や臨床推論など、専門的な視点を深める理論を学びます。

評価・技術：
スキルのアップデート

評価法の実演やICT・ロボット活用など、実践的な技術を支援します。

キャリア・専門性：
成長のロードマップ

管理・教育・研究や、各認定資格制度など、将来のキャリア形成を支えます。

学術・エビデンス：
根拠に基づく実践

論文の読み方や学会発表の作り方など、学術研鑽を推進します。

地域・連携：
社会とつながる広い視点

多職種連携や地域資源、行政との関わりなど、社会との接点を学びます。

作業療法を実践する上で共通して重要となる視点で6つのカテゴリに整理しました。

補足

- ・現地orWEBorハイブリッド開催にて無料で行った研修会・勉強会は無料視聴可能とします。
- ・有料で行った研修会・勉強会は有料コンテンツとし、期間限定配信とします。
- ・有料で参加した研修会・勉強会の参加者はその動画コンテンツのみ無料で再視聴可能です。
- ・(旧)生涯教育制度、(新)生涯学修制度の基礎ポイントの付与は原則認めません。

ログイン方法

アカウント：OT協会会員番号or
県士会会員番号

パスワード：個人で設定



※ユーザーアカウントの共有は認めません。取り扱いにご注意ください。

問合せ

教育部担当理事

五十嵐満哉（恵寿総合病院）

✉ : ot-e-campus@ishikawa-ot.or.jp

組織改編

複数の部・委員会の統合や「事業の選択と集中」によって組織のスリム化を図ります。

さらに、理事の意思決定と各部の実務を分離し、DX推進委員会を新設するなど、持続可能で機動力のある組織への転換を目指します。

局	部	役割
事務局	事務部	会員情報や各種事務対応
	財務部	会計処理・予算執行管理・監査対応・補助金管理
	広報部	会報・HPやSNS管理(情報通信委員会を統合)
	福利厚生部	会員交流、福利厚生に関する事業
学術局	教育部	新人研修・生涯教育・指導者育成・キャリアアップ支援 管理運営教育部、MTDLP推進委員会合併
	身障老年医療部	学術研鑽・技術向上のための研修会・調査等の事業 (認知症対応委員会は精神医療部に統合)
	精神医療部	
	発達障害支援部	
地域社会 振興局	福祉機器部	
	事業部	普及啓発事業等
	地域保健福祉部	保健福祉県内各市町におけるOTの活動状況の把握と管理
	災害対策部	災害対策関連事業、人材育成、石川JRAT連携
	地域支部 金沢西支部 金沢東支部 能登支部 加賀支部	各地域における会員交流、情報交換 (事例検討会は教育部管理に変更)
常設委員会	表彰委員会	各種表彰対象者の選定
	選挙管理委員会	理事・監事の選挙管理・運営
	倫理委員会	倫理に関すること。日本作業療法士協会同委員会との連携。(リスク管理部から名称変更)
	学会実行委員会	県学会・東海北陸学会の企画・運営
	学術雑誌編集委員会	学術雑誌の編集・発行
	スポーツフェス実行委員会	スポーツフェスの企画・運営
特設委員会	運転と地域移動支援推進委員会	協会委員会との連携
	DX委員会	OT e-campus石川システム構築・運営。 会員調査等のAI解析を活用したブロードリスニング、分析結果からの提言、各種情報解析等。

金沢西支部

石川県リハビリテーションセンター 長原 美穂

令和8年6月20日(土)、金沢脳神経外科病院にて、金沢西支部事例検討会・交流会をハイブリッド形式で開催いたしました。本年度は対面とオンラインを併用し、計23名にご参加いただきました(うち3名はオンライン参加)。事例検討会では、6名の方より事例報告が行われ、評価の視点や介入の工夫、支援方針の検討などについて、活発な意見交換や助言がなされました。オンライン参加者も発言しやすい環境を整えたことで、参加形態にかかわらず議論が深まり、臨床を振り返る有意義な機会となりました。

後半の交流会にはオンライン参加者を含む全員が



加わり、対面・オンライン混合のグループで和やかな雰囲気の中、「職場での最近の話題」をテーマに、所属施設を越えた

情報交換が行われました。「自動車運転再開支援」「COPM」「車椅子(補装具)支援」「職場の引越し」「職場でのリレーマラソン」など、多様な話題で盛り上がり、ハイブリッドならではの広がりのある交流となりました。

本事業を通して、地域のOT同士がつながり、学び合う場を提供することができました。ご参加いただいた皆様に深く感謝申し上げます。



◆◆◆令和7年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第4回理事会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：令和8年3月24日(火) 19時～19時30分 西泉事務所 + オンライン
2. 出席理事：米田、合歓垣、堀江、東、菊池、高多、吉田(以上7名会場出席)桂、永井、中森、種本、加藤、鈴木、市川、五十嵐(以上8名Zoom)出席支部長：仁木、西村、北谷、長原(以上4名Zoom出席) 出席監事：後出、進藤(以上2名Zoom出席)欠席理事：酒野 書記：山本(Zoom)濱岸(会場)
3. 議事
 - ・第1・2号議案 令和8年度事業計画と予算について米田会長から説明があった。 **承認**
 - ・第3号議案 米田会長から休会申請者11名、永年会員申請者3名、新入会1名と報告があった。米田会長から会長・副会長の職務状況の報告があった。 **承認**

◆◆◆令和7年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第6回理事連絡会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：令和8年3月24日(火) 19時40分～21時30分 西泉事務所 + オンライン
2. 出席：同上理事、同上支部長
3. 議事【審議事項】

《教育部》①研修会参加の自由裁量ポイントの基準について：令和8年度は例年同様、対象を研修会活動・生活行為向上コンテンツ応募者・各市町活動・その他活動とする。他の案件は理事会で審議。自薦方式を継続。 **承認**

②生涯教育の事例検討／報告の登録変更について：他士会へ異動した元会員の事例検討について、「協会の情報を一旦削除後に、改めて事例報告で再登録してもらう」対応を講ずる。同様に現士会員についても救済する方針を決定。 **承認**

③「OT e-campus石川」として、会員の学習システム運用を5月中旬～下旬に開始。カテゴリー6分類、専用のアカウントIDを配布。有料研修の動画は有料コンテンツとして取り扱う方針を確認。 **承認**

《災害対策委員会》災害対策の令和6年度能登半島地震関連のLINEグループは、活動履歴を保存の上で終了。オープンチャットは引き続き使用。今後はLINE WORKSへ移行していく方針。 **承認**

《執行部》ブロードリスニング結果への対応方針について：事業バランス・人材・組織基盤の3つの大きなテーマに対し、①ブロードリスニングを会員まで拡大し意見聴取→AI分析、支部交流会での議題活用、市町担当者との意見交換の場設定、②KPI(目標値)導入、③中期的な目標・方向性を次年度に検討、の方針を進める。 **方針承認**

【継続審議・検討事項】

《教育部》OT e-campus石川の運用詳細について：コンテンツの収集・編集体制(DX推進委員会の役割含む)、有料コンテンツの価格設定・会計処理(教育部のeラーニング収入として計上する方向)、講師の著作権・肖像権同意取得のチェックリスト／マニュアル作成、実技系コンテンツの撮影・編集方法。 **教育部中心に検討継続**

《執行部》定款変更について：①「書面」での通知、提出となっている条項については、「電磁的方法」に変更することで、業務効率化の方針、②会員条項の見直し、③理事定数の見直しを次回理事会(4月28日)で正式議案として提出・承認予定。理事定数変更の施行は次期改選時。 **次回理事会で正式審議**

◆◆◆令和8年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第1回理事会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：令和8年4月28日(火) 19時～20時 西泉事務所 + オンライン
2. 出席理事：米田、桂、堀江、合歓垣、東、菊池、高多(以上7名会場出席)種本、永井、酒野、鈴木、加藤、市川、吉田、五十嵐(以上8名Zoom出席)出席支部長：仁木、北谷、長原、西村(以上4名Zoom出席) 出席監事：後出雅敏、進藤浩美(以上2名Zoom出席)欠席理事：中森 書記：山本(Zoom)濱岸(会場)
3. 議事 正会員数：807名(令和8年3月31日現在) 賛助会員数：41施設・企業 会員資格喪失：6名
令和8年4月28日付 **承認**
 - ・第1号議案 令和7年度事業報告について米田会長から被災地支援の継続、学術・教育・普及啓発事業の推進、DX化の本格着手を行ったと報告。 **承認**
 - ・第2号議案 令和7年度決算について、米田会長から会費ペイシステム導入により、印刷費・通信費が大幅に削減されたと報告。後出監事より、DX等への投資による効果が得られており、非常に良い結果との意見があった。進藤監事より、組織率の向上や持続可能な会の運営を考慮すると、DXを進めることは必要であるとの意見があった。米田会長から年度末に退会者が増加し、現在の会員数となっていること、次年度以降、退会者が減少するよう運営を検討していきたいと報告された。 **承認**
 - ・第3号議案 定款変更案について米田会長から説明がされた。主な変更点として、①正会員要件の見直し、②入退会・総会等の電磁的手続きに対応すること、③役員人数を変更する以上3点であることの説明があった。 **承認**
 - ・第4号議案 米田会長より、表彰について名称の変更・表彰対象者の報告があった。 **承認**

◆◆◆令和8年度 公益社団法人石川県作業療法士会 第1回理事連絡会 議事録◆◆◆

1. 日時・場所：令和8年4月28日(火) 20時～21時 西泉事務所 + オンライン
2. 出席：同上理事、支部長、書記：山本(Zoom)、濱岸(会場)
3. 議事【審議事項】

《広報部》県士会ニュース：今年度から電子配信・年間3回発行に変更。ニュースの文体変更(「である調」から「ですます調」)、第139号の割り付け案(7月下旬発行)。 **承認**

《執行部》組織体制(部・委員会配置)の決定：理事数削減の方向性に合わせ、1人1部署を基本とし、部長・副部長・委員長に実務を委任する体制へ移行。配置案(名前入り)は後日共有予定。ホームページにも掲載予定。 **承認**

【継続審議】

《事務局》総会に向けた委任状収集：定款変更には3分の2以上の議決権が必要。ハガキ・電子委任状併用で確保する。総会日程は6月14日午前に総会、午後に交流会・新人オリエンテーション。日程を早めに配信する(今週中～GW前)。議案書は5月中旬に送付。

《執行部》組織配置案：各理事に確認を依頼。学会抄録文字数：800字は若手にはまとめきれない可能性があり、増やすことも検討(継続検討)。

インフォメーション 研修会案内・県士会活動

事例検討会・交流会

日時：8月9日(日)

加賀支部

能登で何でも話さん会

日時：9月11日(金)

能登支部

MTDLP事例検討会

日時：9月16日(水)

教育部

キャリアアップ交流会

日時：10月9日(金)

教育部

生涯学修制度説明会

日時：10月16日(金)

教育部

事例検討会・交流会

日時：10月23日(金)

金沢東支部

11月1日(日) 同日同会場開催(金沢市ものづくり会館)

【午前】コラボ研修会
精神医療部・発達障害支援部

【午後】作業療法実践セミナー
身障・老年医療部

大学院で学んで 保健・医療・福祉、教育の リハビリテーション関連領域の リーダーを目指しませんか

多分野融合型の教育・研究体制
働きながら学べるオンライン遠隔講義や
昼夜開講制度、長期履修制度
授業料や奨学金制度など
経済的負担にも配慮



総合リハビリテーション学研究科
総合リハビリテーション学専攻（修士課程）

詳細は本学HPを
ご確認ください



〒924-8511
石川県白山市笠間町1200番地
電話 (076) 276-4400 (代)

あらゆる人々が輝く社会を
実現するために
サンウェルズは
進化と変化を続けます。

SUNWELS

石川県発の専門施設
パーキンソン病専門ホーム

PDハウス

1 専門医監修の
リハビリプログラム

2 脳神経内科医による
定期訪問診療

3 お看取りまで対応
24時間の訪問看護体制

北陸エリア開設一覧 ※2026年5月末時点

石川県	富山県	新潟県
PDハウス白山 2018.06 OPEN	PDハウス秋吉 2022.10 OPEN	PDハウス新潟紫竹山 2024.10 OPEN
PDハウス小坂 2018.12 OPEN	PDハウス戸板 2023.04 OPEN	

全国で56施設展開中 ※2026年5月末時点

株式会社
サンウェルズ

ご入居・お問合せ窓口 | まずはお気軽にご相談ください

0120-540-367

【サンウェルズ入居相談窓口】受付時間 9:00~17:00(土日祝含む)

施設情報は
こちら

賛助会員名簿 (順不同)

A会員

社会医療法人財団董仙会
学校法人 金城学園

B会員

学校法人 センチュリー・カレッジ
社会福祉法人徳充会 青山彩光苑
特定医療法人社団勝木会

C会員

医療法人社団澄鈴会粟津神経サナトリウム
社会福祉法人恩賜財団済生会石川県済生会金沢病院
石川県リハビリテーションセンター
医療法人社団浅ノ川浅ノ川総合病院
医療法人社団浅ノ川金沢脳神経外科病院
医療法人社団浅ノ川桜ヶ丘病院
医療法人社団浅ノ川千木病院
医療法人社団映寿会
医療法人社団さくら会森田病院
医療法人社団慈豊会
医療法人社団丹生会
医療法人社団扇寿会
医療法人社団長久会
医療法人社団千木福久会

医療法人積仁会
金沢医科大学病院
独立行政法人地域医療機能推進機構金沢病院
金沢赤十字病院
公立穴水総合病院
公立宇出津総合病院
社会福祉法人篤豊会
公益社団法人石川勤労者医療協会城北病院
珠洲市総合病院
医療法人社団和楽仁芳珠記念病院
医療法人社団 竜山会 金沢古府記念病院
医療法人社団持木会 柳田温泉病院
医療法人社団 光仁会 木島病院
医療法人社団橘会整形外科米澤病院
宇野酸素株式会社
株式会社金沢義肢製作所
株式会社トミキライフケア
エア・ウォーター・リンク株式会社 北陸支店
セントラルメディカル株式会社
株式会社 メディベック
株式会社 サンウェルズ

D会員

有限会社 さわやか金沢



県士会では会費ペイシシステムを用いて全会員に向けてメール配信を実施しております(定期配信は毎週火曜日)。重要事項を送信することもありますので、確実にメールが受信できるように確認をお願いいたします。詳細・メールアドレス変更等については県士会ホームページをご参照ください。

県士会Web QRコード▶



会員数

会員数 842名(令和8年6月22日現在) 賛助会員 41施設・企業

認定作業療法士 46名(令和8年6月22日現在) 専門作業療法士 4名(令和8年6月22日現在)

編集後記

今号は、多数の表彰受賞者の皆様の温かいお言葉や、44名もの新入会員の紹介、そして活気に満ちた交流会の様子など、県士会のこれまでの歩みと新しいつながりを感じる誌面となりました。さらに、米田会長の巻頭所感で示された創発と再設計への思いや、新たな学習プラットフォーム”OT e-Campus 石川”の始動など、組織全体が次へ向かって進化していく様子をお届けできたかと思います。私事ですが、今年度、様々なご縁から地元の公民館長を拝命しました。日々の活動を通じ、今まで見えなかった地域の側面を知り、新たなつながりが増えています。地区行事を運営したり、地域の防災体制について考えたりする中で、人・作業・環境から捉える作業療法士の視点から、地域づくりにとても役立つと実感する日々です。一つひとつの役割を粛々とこなしながら、士会活動での出会いや、地域で広がるご縁をこれからも大切にしていきたいと感じます。次号もよろしく願いたします。

公益社団法人石川県作業療法士会ニュース 年3回発行

編集担当：酒野直樹、川口朋子、寺井利夫、萬貴裕、太田哲生、岩田望、網谷郁美、北野早紀、竹中朋也、仲佐東、上野玲子、小川正人、宮田真由美、竹村健太郎、増田司、南澁太

発行所：公益社団法人 石川県作業療法士会

〒921-8043 石川県金沢市西泉3丁目28-1 東和第3ビル201 Tel 076-259-0678

発行人：米田貢 印刷：ヨシダ印刷株式会社